

エリマネ ニュース

第 31 号

深谷台小学校エリアの広報紙

発行日：H26 年 1 月 31 日

発行者：深谷台

地域運営協議会

連絡先：深谷台小学校内

地域交流室

TEL：392-5735

<http://www.drsansan.jp>

視野を広げつつ、着実に 地域運営協議会代表 泉一弘さんに聞く

◆新年を迎えて、個人的に抱負や計画を描けましたか

毎年 1 年の計を書いています。一つ目は地域での活動の着実な展開、二つ目は横浜市域で関わっている立ち上げ 2 年目の NPO 法人の経営に注力すること。三つ目は、これまでも関わっている県域での活動をさらに広げていくこと、です。

◆地域運営協議会代表として 7 年目を迎えますが、大変だったこと、良かったことは？

いやなことは忘れていく。継続することが大事で、まず 6 年間続いてきたことを評価します。ドリームハイツエリアを広げて深谷台小学校区にしたことで、新たな課題が見えてきました。それまでは高齢化の課題が中心でしたが、子ども達の事が見えてきたことは、大きな成果です。

◆これからの協議会をどのようにしていきたいと思われますか

今は小学校区エリアだが、将来的には中学校区に広がって行くでしょう。それによって又新たな課題が見えてくると思う。また、この地域では難しいと思うが、地域でお金が回る仕組み（コミュニティ経済）と雇用の場づくりです。

◆少子高齢化が進む地域で、特に子ども達の事をどのようにお考えですか

乳幼児から中学生まで、切れ目なく子ども達の事を見守ることが大切だと考えています。地域で子ども達を育てる意識が大事だと思います。



協議会を進行する泉さん(左から二人目)

◆高齢化が進む地域で、何が必要だと思われますか

出来るだけ地域で最期を迎えられるようになると良いし、そのためには医療との関わりも進めたいと思っています。

実際に見守りネットセンターで 22 人を 3 人で見守っていますが、夜中に緊急通報の連絡を受けたり、病院に付き添ったり、と市民として出来ることの限界も感じています。

◆「これからの夢は？」と聞くと、遠い先の夢を描くより、目の前の事を着実にこなすのが自分らしい生き方、とのお答えでした。そして、最後に熱く語られました。

「最近では葬儀を地域でやらなくなり、訃報の掲示もなくなり、長く生きてこられた方々の最期があまりに寂しい、と感じる。一人ひとりの人生を辿り、その生き方から学び、みんなで見送ることをしたい。特に最近は戦争体験を聞く機会が少なく、私たちの世代が学ばなくてはいけないのに、その機会を失っている。人生の最期を輝かせる、そんな地域にしたい」と何度も繰り返されました。

今年も、泉さんのリーダーシップのもとに進められる地域運営協議会にご期待ください。

おとなのソーラン節

おとなのソーラン節



～チーム響和～

私たちが住むこの地域の小中学校では、体育祭などの場で子どもたちが“ソーラン節”を踊ります。地域のお祭り等でもご覧いただく機会がありますが、“おとなのソーラン節”もジワジワと盛り上がりを見せています。その名も『チーム響和』！

立ち上げ発起人の近藤久実さんの熱い思いをご紹介します。

私は平成 12 年 10 月にドリームハイツに移住してきました。その時、我が子は 7 歳、2 歳、2 ヶ月。「たくさんの子どもがいるんだろうな」という思いとは裏腹に子どもの数は少なかったのを覚えています。そんな中、小学校での PTA 活動に参加させていただき今に至りますが、ここまでやって来てみて思うことのひとつに“親である私たちが輝いていなければ！”というのがあります。子は親の背中を見て育つもの。子どもになんだかんだと言う前に、まず自分がやってみろ！と思うのです。PTA を卒業しても地域で繋がっていたいという思いも膨らみ「じゃあ、何をする？」と考えた時、【おとなのソーラン節をやりたい】と思いました。

大正地区小中学校 8 校 PTA 会長の皆さんのお力を借りて、昨春秋『チーム響和』を立ち上げ、24 名からの“おとなのソーラン節”が始まりました。

深谷中学校体育科主任の末武先生に踊りの指導をお願いし、昨年 12 月に開催された戸塚区 PTA 連絡協議会全体会で発表しました。当日は校長先生方の掛け声もいただき、よい緊張感の中で楽しみながら演舞出来ました。今後も積極的に発表の場をみつけ活動の場を広げていきたいと思っています。

おとなのソーラン節をやるにあたり、「息子からソーラン節を教えてもらいコミュニケーションが取れた」「他校の方々と新しい出会いがあった」など、それぞれで新しい繋がりや発見を得られているようです。それぞれが感じる充実感、満足感は更にチーム響和の輪を広げるのではと思うところ！大人の私たちが踊って輝くことで、子どもたちに元気を与えられる気がします。

チーム響和が、大人も子どももそれぞれが成長できる場になれば最高だ！と心からそう思っています。

チーム響和 近藤久実

介護保険 27 年度改正に向けて

地域で支援が必要な人が自立した生活を継続できる地域づくり

○市町村が中心になってコーディネーターと連携しつつ、生活支援サービスの充実、介護予防の推進等を図ることにより、高齢者が利用可能な多様なサービスが地域で提供される。

○高齢者の中には事業の担い手となるものも出現。これは介護予防にもつながる。

⇒高齢者を中心とした地域の支え合い（互助）が実現



市町村が中心になって企画・立案

地域資源の開発（例）

- ・ボランティアの発掘・養成・組織化
⇒ボランティアは生活支援・介護予防の担い手として活動。
- ・高齢者の困り事の相談の対応等も実施（コーディネーターとも連携）
- ・生活支援・介護予防の立ち上げ支援

介護予防・生活支援の充実

住民が参加

自治体・地域包括支援センターと連携協力

地域コーディネーター

活動団体の協議体

これから
私たちにも
できる
事がある

ハイツの団体が今
活動している事

多様な通いの場（例）

- ・サロン
- ・住民主体の交流の場
- ・コミュニティカフェ
- ・認知症カフェ
- ・ミニディサービス
- ・体操教室・運動・栄養・口腔ケア等の教室

「ふらっとステーション・ドリーム」は地域の交流サロン。「夢みん」は高齢者サロンと介護予防、認知症の取り組みを行う。

「ふれあいドリーム」「見守りネットセンター」は高齢者の生活支援や認知症介護予防、相談にも対応。

多様な生活支援（例）

- ・ごみ出し
- ・洗濯物の取り入れ
- ・食器洗い
- ・配食
- ・見守り
- ・安否確認
- ・買い物支援



「地域給食の会」が安否確認を兼ねた配食を。「見守りネットセンター」は希望者に24時間の安否確認と見守りサービスを行う。

「ふれあいドリーム」は介護予防と生活支援、移動サービスを。「ボランティアバンクえん」は生活支援全般を担う

支援を要する高齢者

担い手ともなる
高齢者も出現



第 30 号で国語辞典等のご寄付をお願いしましたところ、皆様方のご協力でたくさん集まりました。本当にありがとうございました。紙面をお借りして、お礼を申し上げます。

☆深谷台アフタースクール☆

募集！

エリマネニュース編集委員

人数：2名（年齢不問）
職種：記者と印刷などの作業
謝礼：500円／作業1回
問合せ：392-5735
地域交流室まで



ードリーム文庫よりお知らせー

ドリーム文庫は3月末で終了します

発足以来40年、皆さまにご利用いただきましたが利用者の減少と、運営する文庫員の高齢化に伴い、やむなく文庫活動を終了することになりました。長い間、ご利用ありがとうございました。

ドリーム文庫代表 杉山真弓

「わたしたちのまち」ードリームハイツイエリアの団体一というA3三つ折りのリーフレットをご存知ですか。この度、新たな6団体を紹介したシートが加えられました。

見守りネットセンター、深谷台アフタースクール、俣野公園プレイパーク、地子ネット、ニコニコクラブです。

★必要な方は地域交流室まで★

広告

ヘアーサロン

さんけい

《定休日》
毎週月曜、
第1、第3火曜日

環状4号線、下和泉信号そば

女性、男性の
カット、顔そり
パーマ、カラーなどなど



TEL 045-801-8676 P有り

お気軽にお電話ください（予約優先）

あとがき

新しい年が明けました。私の今年の抱負は「健康第一」です。規則正しい生活、食事、運動、適度な娯楽で、心も体も明るく元気に健康でありたいと思います。（恵）

身体に優しく、まろやかな天然のお塩を販売しています！
ヒマラヤ産クリスタル岩塩と水の店

広告

源気商會 (げんきしょうかい)

- ★ 東京スカイツリー、ソラマチでの販売開始！
- ★ ふらっとステーションでも販売中！



ドリームハイツ 10-108（土井）

★お気軽にお問い合わせください★

★楽天市場にも出店しています★

045-777-6920 / メール/ doi@genki.de.com

出張自転車修理

出張費なし！

広告

TEL 045-852-4126
FAX

キタハラ・メンテサイクル

雨天休業・不定休

パンク修理・タイヤ、チューブ取替
鍵外し、取付・各部品取替、取付

・受付 AM8:00～PM7:00

・戸塚区俣野町 1403 17-806

・パンク修理は1,200円より。

